

H27.10.3

あっぱれ、川島なお美さん!



長尾和宏(ながお・かずひろ)
東京医大卒業後、大阪大第二内
科入局。平成7年、尼崎市で「長
尾クリニック」を開業。外来診療
から在宅医療まで「人を診る、総
合診療を目指す。医学博士。近著
「平穏死・10の条件」「胃ろうと
いう選択、しない選択」はいずれ
もベストセラー。関西国際大学、
東京医科大学客員教授。57歳。

女優の川島なお美さんが胆
管がんのために9月24日に54
歳の若さで旅立たれました。
川島さんのがんの闘病経過は
多くの人の参考になると思
い、振り返ってみます。

報道によると川島さんは、
平成25年7月の人間ドックを
受けた際に、偶然にも胆管に
直径2センチの腫瘍が発見され、
その半年後の26年1月に腹腔
鏡手術を受けられました。今
年、がんの再発が判明しまし
たが、抗がん剤治療を拒否

最期まで舞台に立てた理由

られています。胆管がんは、
一般にかなり進行するまで症
状が出にくいいため、早期発見
が難しいです。早期発見には
腹部エコーが有用であり、精
密検査としてCT(コンピュータ
ー断層撮影)やMRI
(磁気共鳴画像装置)などが
行われます。

川島さんは、ワイン愛好家
としても有名でした。ワイン
と胆管がんの関係を心配する
人もいるようですが、ワイン
が胆管がんに直接関係するこ
ういうデータはありません。た
だしアルコールですから、飲
み過ぎると肝硬変や脂肪肝に
なるので危険です。つまみと
して食べるチーズなどの高脂
肪食に偏っていたのなら、そ
れが関係した可能性はありま
す。また、印刷機の洗浄に利
用されている「1,2ジクロ
ロプロパン」という化学物質
は、胆管がんの発がん性物質
として認定されています。

さて、川島さんは亡くなる
3週間前まで舞台に立たれて
いました。いつからか死を覚
悟し、「舞台で死ねたら本
望」とまで語られたそうで
開でした。その写真を見た私
は思わず「あっぱれ、川島な
お美!」と応援記事を書いた
ほどでした。

「長尾先生、末期がんでも
亡くなる3週間前まで仕事が
できるのですか」。川島さ
んの訃報を知った人からそう
聞かれました。「もちろん、
そんな人はおられます。ただ
し、いくつかの共通点があり
ます」とお答えしました。

それは、①最期まで抗がん
剤をやっていない。やっ
ていなくても末期になる前にやめる②
徐々に食べられなくなって、
痩せてきても高カロリー輸液
をやっていない③十分な緩和
医療を受けていること④で
一言でいうなら少しづつ
枯れていくことを「待つ」こ
とができるかです。待つため
には、十分な緩和医療とい
う土台が必要です。3つの条件
を満たしたとき、川島さんの
ように、最期まで仕事ができ
ます。



「がんの基礎知識」シリーズ⑥

胆管がん わが国の平成25年の胆のう・胆管
がん死亡数は、男性約8900人、女性約93
00人で、それぞれ、がん死亡数全体の4%と6%を
占める。胆のうがんは女性に多く、胆管がんは男性に
多い。罹患(りかん)率の国際比較では、日本人は他
の東アジアの国や欧米人に比べて高い傾向にある。